議会運営委員会　会議録

日　時　　令和８年６月１１日（木曜日）　午前１０時２５分～午前１１時１６分
場　所　　臼杵庁舎２階　第４委員会室

出席委員の氏名

委員長　芝田　英範　　副委員長　匹田　　郁
委　員　山手　　耕　　委　員　匹田久美子　　委　員　戸匹　映ニ
委　員　大塚　州章

オブザーバー

議　長　伊藤　　淳　　副議長　甲斐　　尊

欠席委員の氏名

（　な　し　）

説明のため出席した者の職氏名

政策監（総務・企画担当）　安東　信二　　総務課長　山木　哲男
財務経営課長　　吉良　　猛

出席した事務局職員の職氏名

局長　尾本　　浩　　次長　小嶋　佳希　　主幹　柴田　　監　　書記　工藤真里子

傍聴者

（　な　し　）

協議事項

Ⅰ．議案等について
Ⅱ．会期日程について
Ⅲ．議事日程について
Ⅳ．一般質問発言順序について
Ⅴ．その他

午前１０時２５分　開議

事前説明

◎総務課長（山木哲男）

（　令和８年６月定例会議案等について、配付資料に基づき説明　）

◎財務経営課長（吉良　猛）

（　令和８年度補正予算について、配付資料に基づき説明　）

協議事項

Ⅰ．議案等について

Ⅱ．会期日程について

Ⅲ．議事日程について

◎書記（工藤真里子）

（　配付資料に基づきⅡ～Ⅲを一括説明　）・・・（　質疑なし　）

（　協議の結果　）　事務局案のとおり決定

Ⅳ．一般質問発言順序について

◎書記（工藤真里子）

（　配付資料に基づき説明　）　・・・（　質疑なし　）

（　一般質問通告書の内容確認　）

〇委員　（意見）

・質問内容が臼杵市全体というよりも１か所の特定した場所になっている。方向性としてあまりよくないのではないか。市全体としての取組ということで考えた方が良いのではないか。具体的な場所を特定した質問は、少し疑問に思う。

・市の取組という形で質問をしていると思うが、具体的な場所を指定した質問となると、これがだんだん地域ごとにそこだけの質問が増えてくる可能性がある。問題を提起するのはよいが、表現の仕方について、場所をあまり明記しないほうがよいのではないか。

・臼杵市の政策について、遅れているところがあるのでそこについて質問する、というような流れの中で地名が出るのは問題ないと思う。市の政策について問いかけるべきではないか。

・質問の通告内容は、あまり具体的な地名は出さずに、質問の中、市の答弁で地名が出るのは全く問題ないと思う。冒頭から質問の中に具体的な場所を入れるのはどうかと。表現の問題ではあるが。

・議員としても地域の問題を質問したいという考えもあると思うので、質問の中に入るのはよいと思うが、通告からは具体的な地名等を省略した方がよいのではないか。

・みなさんの意見に同意だが、一般質問で何を聞いてはいけないということはないので、そこにあまり制限が入りすぎるのはどうなのか。こうした方が望ましいという見解になった

ことを当該議員に相談し、合意があれば省略するしかできないのではないか。

・削除するということではなく、質問（言葉）の意味を広く捉えるという認識で、委員長に話してもらえばよいのでないか。

〇委員長（芝田英範）

議員の質問というのは重要な責務があるが、内容について当該議員と委員長が協議するということでよいでしょうか。

（　協議の結果　）

委員長と当該議員で協議する。その結果、具体的な地名は省略することに同意。

〇委員長（芝田英範）

一般質問の時間超過については、これまで協議してきたとおりなので、各会派で注意してほしい。

（　一般質問順を抽選した結果、発言順序は、以下のとおり決定　）

１．平川　幸司　２．広田　精治　３．宗　　和義　４．戸匹　英二　５．山手　　耕
６．匹田久美子　７．保毛津林太郎８．河野　　巧　９．大塚　州章　10．安東　鉄男

Ⅴ．その他

１．各種委員会の開催（予定）について

２．質疑・討論の取り扱いについて

３．全員協議会の開催について

４．次回、議運及び代表者会議の開催予定

◎書記（工藤真里子）

（　配付資料に基づき１～４を一括説明　）・・・（　質疑なし　）

５．閉会中継続調査の申し出について

〇事務局（小嶋佳希）

（　配付資料に基づき説明　）

〇委員長（芝田英範）

ただいま、事務局から提案がありました。これまでは、委員会の後に部会を行っていましたが、私たちも区別がはっきりつかない状況でありました。ということで、この度、事務局より提案がありました。ご意見等はございませんか。

〇委員（意見）

・部会を始めた頃は、自由闊達に意見を出して幅広く調査をするという目的だったと思う。それが、機を熟して正式な委員会として、より専門的に調査に取り組むという形で委員会と

して承認していくという認識でよいか。

→前回の議会改革調査特別委員会の報告でもあった通り、議会改革を推し進めて行く、さらに意見交換会の実施など、外に出るという一歩踏み込んだ、進んだ展開を行うとしている。正式な委員会活動として、委員会として意見交換を行う場等もあると思うので、議会基本条例に則った形でこれまで以上に進めていくというところで、委員がおっしゃった通り、部会から一歩前進した形で、委員会活動とするということで提案している。

・部会活動でも責任はあったが、費用弁償も発生し、責任も強くなる。内容もさらにちゃんとして結果を報告しないといけないということにもなる。その辺りは各会派の方にも認識をいただく必要があると考える。

・議会活動となると、活動内容を報告する必要が出てくるのか。また、部会だと意見交換を行った場合も個人で行っていたが、公用車使用できるか。

→閉会中継続調査の申し出をしても、必ずしも報告がいるという義務付けはない。状況を踏まえて報告することはよいが、毎回や毎年報告しないといけないということはない。

当然公務となるため、限りがあるが公用車の使用は可能である。

・例えば委員会で動く際に、必要経費が必要な場合は、公費での申請ができるのか。

→経費は公費で予算化が必要ということになるので、予めわかっているものは予算化するが、これまでの実績を踏まえると、そこまで予算が必要か不明なため、予算化はしていない。運用しながら検討したい。

・報告の話が出たが、提言書を提出することを委員会報告として行ったりすることになるのか。

→詳細はまだ調査できていないため、改めて回答する。

〇委員長（芝田英範）

事務局の提案のとおり、閉会中継続調査の申し出については、各委員会で確認いただきたいと思いますが、よろしいですか。

（　「はい」の声　）

（　協議の結果　）　６月２６日（金）予定の各常任委員会で申し出について諮る

６．議員表彰に

７．定例会中の服装等について

◎書記（工藤真里子）

（　配付資料に基づき説明　）・・・（　質疑なし　）

８．その他

〇委員（意見）

代表者会議の開催について、開催日はわかるので、開催時間を早めに無会派の議員に知らせ

ていただきたい。

→開催について、早めに事務局から通知することとする。

午前１１時１６分　閉会

臼杵市議会委員会条例第３０条第１項の規定により、ここに記録を作成する。

令和８年６月１１日

臼杵市議会

議会運営委員会委員長　芝田英範